

おでかけだより

春号 NO. 61
2019年4月1日



発行：NPO法人『おでかけサービス杉並』 発行責任者：樋口 蓉子
〒167-0051 杉並区荻窪5-18-11サニーシティ荻窪103
TEL 03-6425-8584 FAX 03-5397-1755
<http://www7b.biglobe.ne.jp/~npo-odekake/>

最近のタクシー事情について

理事 秋山 糸織

「近頃よく見かけるオリンピックマークのついた黒いタクシーは何かしら？」「タクシーの予約が取り難いのだけれど・・・」もび～るにはこんな相談が増えているので、杉並区清水にあるキャピタルオート（株）を訪問し最近のタクシー事情を聞かせていただきました。昨年秋以降、よく町で見かける黒い車は「ユニバーサルデザインタクシー」です。この車は、足腰の弱い高齢者、車いす使用者、ベビーカー利用の親子連れ、妊娠中の方など、誰もが利用しやすい“みんなにやさしい新しいタクシー車両（国土交通省ホームページより）”です。使い方・運賃料金はこれまでのセダンタイプのタクシーと同じです。今までのセダンタイプとの違いは、横スライドドアで、開口部が広く、高さにゆとりがあります。手すりや吊り革がついており乗り降りの助けになりますので、足元が不安定な方や立ち上がりに苦労していた方にも使い易くなっています。また、付属のスロープを取り付けると車いすのまま乗り込むことも可能です。しかし、条件として、乗車、降車場所で、スロープ設置と車いす操作に必要なスペースが確保できること。場所によっては、車の側面から3m必要です。現時点では、乗車の準備から固定完了までに15分程、降車にも同様の時間を要するため、ほとんどの方が車いすからシートに乗り移って乗車（車いすはたたんで積み込み）しているそうです。また、タクシーの電話予約がとり難い現状については、元々、23区内は電話による事前予約を受け付けている会社が少ないのに加え、スマートフォンの配車アプリが普及し、これが優先されることも影響しているとのことでした。アプリは新しい仕組みのため、利用者には使い方に不慣れな方もおり、また、乗務員も会社も試行錯誤している段階です。おでかけサービスが運営を受託している「もび～る」では、福祉車両による移動サービスだけでなく、一般タクシーについても最新情報を集めています。困ったことがあったら、どうぞ電話でご相談ください。 ☎03-5347-3154

新規運転協力員 紹介

岩村 通和（みちかず）



池上 健一

この春よりドライバーとして、おでかけサービス杉並のお仲間に加えていただき、生まれも育ちも荻窪の池上と申します。「いずれ役に立つかもしれない」と漫然とした理由で移送サービス運転協力者の資格を昨年取得しましたが、そのしばらく後に故障続きに陥った愛車を買って替えなければならない展開となり、「だったら資格を活かせる車種にしよう」と、タントのスローパー仕様を購入しました。間もなく62歳となるまで世間の役に立つこととはまったく無縁だった我が身を振り返り、とはあまりにも大袈裟ですが（笑）、これからはご利用者に満足いただけるサービスと徹底した安全走行とに努めてまいりますので、どうぞよろしく願いいたします！



私は平成31年1月より運行員として業務を始めました。幼少の頃、将来何になりたいか？という質問に、牛乳屋かタクシーの運転手、と言っていました（笑）。牛乳屋については、多分冷たい牛乳が好きでガブガブ飲んでいたのでだと思います。あとタクシーの運転手についてですが、私の父は車好きでよくドライブに連れて行ってくれましたが、運転が下手で、公共のタクシーに乗った時、運転手さんは父と違いななんて速くて上手いのだろうとびっくりしていました。それ以来運転手さんは偉いと思っていたようです。いまこれに近い仕事をはじめましたが、速く上手く運転するのではなく、安全にやさしく運転するのを心がけています。私が若い時

周りへのマナーや同乗者を気遣う運転に欠けていた事を反省しつつ、天国の父も実は運転が下手ではなく安全優良ドライバーだったのかと今では思います。私が運転する時は、快適でやさしいドライブをお約束します。どうぞよろしく願いいたします。

車の入れ替えをしました!



コーディネーター 野口 恭子

8年前の震災の翌日に納車された福祉車両が少しくたびれてきたので、この3月に新しい車に入れ替えをしました。車種は同じバネットですが、色を今までの鮮やかなブルーからシックなグレーに変更しました。購入資金は、今回も生命保険協会※『愛の募金運動』から助成をいただく事ができ、それに自己資金をプラスして購入しました。

私たちの行う移動サービスに車両は欠かせませんが、高額な資金を必要とするため、このような企業の社会貢献活動からの助成金は大変ありがたく、活動の励みにもなります。バネットは車いす対応の福祉車両ですが「試しに乗ってみたい」という方は、座席に乗っていただく事もできますので、予約の時にご相談ください。

※ 生命保険協会の「愛の募金運動」は、1977年から始まり今年で第42回になるという古い歴史があります。今年で4万人以上の社員の方々から1,216万円の募金が寄せられ、私たちを含め6団体が選ばれました。



「運転協力員安全運転ミーティング」を開催しました

事務局 樋口 厚

去る2月23日(土)、本年度最後の運転協力員ミーティングとして、安全運転をテーマに会議を持ちました。当日は運転協力員12名の参加があり、スタッフ4名を加え16名での活発な会となりました。

安全運転に関する事例として、鋭角の四つ角で左側から出てきた自転車と接触した件が取り上げられ、どういう場所で、どういう時に事故が起こりやすいかを話し合い、特に注意すべき点の確認を行いました。幸いにも今回は大事には至りませんでした。完全な一時停止の励行や、利用者さんが降車された直後の気持ちの緩みへの反省など、改めて確認が行われました。

会の後半は2班に分かれ、「利用者さんへのより良い対応」について話し合いが持たれました。運転協力員それぞれの体験から多くの意見が出されましたが、基本となるのは、利用者さんそれぞれの希望や考えをできるだけ丁寧に汲み取って、利用者さんの意向に沿った対応をすることが大事だ、ということが共通した認識であったと思います。運転協力員の方々は、普段は個別に活動をしており、一堂に会する機会はほとんどありません。悩みや問題を感じている運転協力員の方も少なからずおられ、このように体験や意見を出し合う場は貴重な時間となります。来年度もまた何回かの、運転協力員ミーティングを行い体験の共有化を図ると共に、安全・安心の送迎を行ってまいります。

新天皇即位による10連休中の対応について

4月27日(土)より5月6日(月)まで事務所はお休みになります。
この間のご予約はお早めにご連絡をお願いします。

緊急連絡先 ☎ 070-6486-6931